



# 学校だより小笹

No. 7 11月9日  
福岡市立小笹小学校  
文責 校長 時枝豊実

## 「共育の日」 11月11日(土)

早いもので2学期も後半になりました。朝晩はずいぶん寒さを感じるようになり、市内の小学校ではインフルエンザによる学級閉鎖をしたところもあるようです。子どもたちには、健康管理に気を付けて、残りの2学期を元気に過ごして欲しいと願っています。

さて、本年度から学習発表会の本番を「児童鑑賞の日」と「保護者鑑賞の日」の2回に分けて実施することにしました。これは、『子どもたちが一生懸命に練習した成果を全学年体育館で披露させたい』という先生方の願いを実現したものです。すでにプログラムは配布されていると思いますが、保護者の皆様には学年毎の発表が終了した際に座席を移動していただく事になります。短時間での移動になりますが、何卒ご協力をよろしくお願いいたします。

また、11日(土)は「共育の日」でもあります。この日は福岡市全ての小中学校が土曜授業を実施する事になっています。福岡市が「共育の日」を制定したのは、子どもたちの健全育成のために学校・家庭・地域・社会が連携しながら取り組みを進めていくようにするためです。

では、それらが連携して子どもたちにどのような力を身につけなければならないのでしょうか。福岡市が掲げている「挨拶、掃除・自学・立志」もその一つであることは間違いありません。しかし、子どもそれぞれに違いがあるように身につけさせる力にも違いがあります。「共育の日」を機会に子どもが伸びる要素と大人の関わり方について考えてみたいと思います。

ある教育者は「日々どれだけ素直な心をもって過ごしているかで子どもの伸びの違いが見られる。これは、親や先生の言うことを何でも素直に聞くという単純な意味ではなく、物事の受け止め方のことである」と言っています。また、経営の神様として有名な松下幸之助さんは、「素直な心から謙虚さが生み出され、謙虚さから人の話に耳を傾ける姿勢が現れてくる。素直さは伸びる人の絶対条件である」とも言っています。

その素直な心は、人との関わりや様々な体験の中で育まれていきます。そして、素直な心を育てる際の大人としての役割は、子どもと共に学び成長していこうとする「共育」の姿勢で子どもに接することです。子どもの言葉にじっくりと耳を傾け、例え不十分であっても共感的に理解する態度が大切です。そのことで、子どもは真の愛情を感じ取り、信頼を深め、本音で話し合える関係が構築され、素直な心や謙虚さが育つのではないかと思います。

「共育の日」をきっかけにし、子どもとの接し方を考えてみてはいかがでしょうか。

## 言葉づかいについて考えよう

11月の生活のめあては、「ふわふわ言葉をつかおう」となっています。小笹小の子どもたちは、とても気持ちのよい挨拶や先生に対する言葉遣いもとても丁寧にできており、以前から素晴らしいと感じていたところです。一方で子どもたち同士の会話を聞いていると、結構乱暴な言葉が飛び交っているのを耳にします。この機会に言葉遣いに関して振り返らせる機会にしたいと考えています。

特に以下については、全職員で取り組んでいくことにします。

- ① 普段の子ども達の言葉に気をつけ、相手を傷つけるような言葉を耳にした場合には、タイミングを逃さず、その場で指導します。
- ② 相手をからかったり、攻撃したりする言葉には、その言葉を使うことによって、第三者を差別することにつながる言葉もあります。言葉が持つ意味や重みを理解させ、お互いに支え合う関係づくりができる子どもを育てます。

## 11月・12月の行事予定

11月 6日(月) ~学校公開週間	12月 1日(金) 成人委員会講演会
9日(水) 就学時健康診断	4日(月) 放送集会
11日(土) 学習発表会(土曜授業)	7日(木) 人権学習参観・懇談会
14日(火) 5年北九州見学	13日(水) 6年こころの劇場
22日(水) 6年平尾中入学説明会	21日(木) 給食最終日
26日(日) トントン山整備	22日(金) 終業式
29日(水) 5年学習定着度調査	1月 9日(火) 3学期始業式
30日(木) 研究推進事業発表会	10日(水) 給食開始